

大会時・コロナ禍での取組

2019年6月：G20(大阪)の大規模交通規制を経験し大会時を危惧、2020TDM推進プロジェクト説明会で情報収集を開始
2019年9月：関東地区の営業や現店、グループ会社を巻き込み社内に対策PT(「就労体制」「物流対策」の分科会)を設置

人の流れ

きっかけ 以前より実施 オリパラ コロナ禍

※オリパラに備えて準備し、コロナ禍で取組が加速した

- テレワーク・・・特に23区/重点取組地区の事業所で実施(50~70%)
ネットワーク回線を10倍増設、セキュリティ対策実施
 - オフピーク出勤・・・やむを得ず出勤する場合に実施
 - サテライトオフィス・・・研修施設をサテライトオフィス化
 - 計画休暇の取得の奨励
 - 会議・出張の原則禁止
 - オンライン会議の開催
 - 社用車の利用禁止
- 等

物の流れ

きっかけ 以前より実施 オリパラ コロナ禍

- 取引先に大会時の配送への影響を説明
協力依頼文書を発出し、個別説明(会社HPに協力依頼文書を掲載)
- 納品時間の緩和、分散
納品時間に幅を持たせる、納品時間を分散させて集中を避ける
- 配送時間帯の変更
日中から夜間配送への変更
- 配送出発時間の変更
前日夜に荷積み、明朝出発への変更
- 物流動向の一元管理(グループ会社内)
道路状況や納品クレーム等をインターネットフォームの活用で一元管理

取組ポイント

- 社内PTを設置し、物流対策、就労体制をメインにサイバー攻撃、交通規制、テロ、自然災害の対策も併せて検討実施

取組ポイント

- 協力依頼文書を作成し、取引先への説明時に活用
- 物流動向の一元管理により、本部で逐次確認したり、対応できる体制とした

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

- テレワーク
- オフピーク通勤
- サテライトオフィス
- 計画休暇の取得の促進
- オンライン会議

物の流れ

- 物流動向の一元管理については、今後も同様の大きなイベントなどが開催される際に、継続して活用する予定

【東京2020大会を振り返って】

- ・2019年下期から社内対策PTを立ち上げ検討を開始したが、準備期間としては丁度良かった。
- ・事務局から適宜情報提供があり、有効活用できた。
- ・物流対策は今後大きなイベントがあれば今回のノウハウを活用。
- ・通常時は顧客との契約の兼ね合いで継続が難しい面がある。

- ・無観客開催となり、取組の必要性が無くなったと捉えた取引先もあったが、選手や大会関係者の移動による混雑は、引き続き見込まれること、そのため、取組が必要であることを説明した。